

# 1 言語 ことばの学習(1)

漢字の形と音

名前

年組番

小学校6年・国語

11問

1 次の漢字のグループから、共通した部分をぬき出し、その音読みを書きましょう。

〈例〉 化・花・貨 化 ↓ か

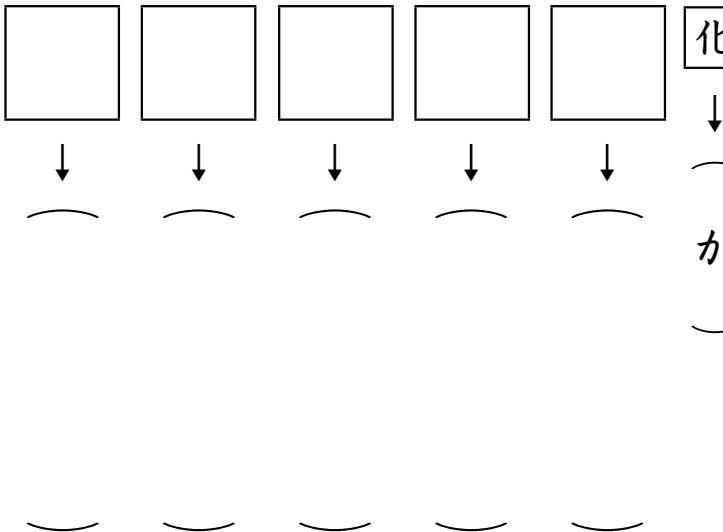
① 長・帳・張

② 清・靜・精

③ 飯・版・板

④ 固・湖・故

⑤ 則・側・測



2 共通した部分を持つ同音の漢字のうち、正しいほうを選んで、○で囲みましょう。

〈例〉 チョウの（票・標）本を作る。

① (組・祖) 父にほめられる。

② (すもうの土) 表・俵)。

③ (波・破) 亂の人生を送る。

④ (建・健) 康に気をつける。

⑤ (適・敵) 当なことを言う。

⑥ 郷 (きょう) 里・理) に帰る。

# 2 言語 ことばの学習(2)

漢字の読み方

名前

年組番

小学校6年・国語

13問

1 一線の漢字の読みを書きましょう。

① 幕府を開く。

② オリンピックが開幕する。

③ 再来週に出かける。

④ 友人と再会する。

⑤ 武者ぶるいする。

⑥ 武士の世。

⑦ 大きな規模の大会。

⑧ 模様をえがく。

2 次の一の□に当てはまる、読み方のちがう同じ漢字を書きましょう。

〔例〕同じ時間・同じ人間

① 合する・書館の本

② 長い線・正規

な人

③ 決する・三角規

の人

④ 名のだんご・荷持

つ

⑤ 年の夏・過

のできこと

# 3 言語 ことばの学習(3) 言葉の意味

名前 \_\_\_\_\_ 年組番 \_\_\_\_\_ 小学校6年・国語

/ 13 問

1 次の言葉の意味を後から選んで、記号で答えましょう。

① 軽い

- 1 この問題を解くのは、軽い、軽い。  
2 軽いかばんを持ち歩く。  
3 軽い病気で、すぐ治った。  
4 軽い気持ちで引き受ける。

ア 気楽である。

イ 重量が少ない。

ウ たやすいことだ。

エ あまりひどくない。

② 見る

- 1 飼い主の留守中にペットを見る仕事。  
2 毎朝、食事前に新聞を見る。  
3 あなたはこの問題をどう見る?  
4 山の上から自分の町を見る。
- ア 考える。
- イ ながめる。
- ウ 世話をする。
- エ 読む。

2 次の( )には、それぞれ同じ言葉が入ります。□から選んで書き入れましょう。

① 川が( )。

月日が( )。

② 波の音を( )。

人に道を( )。

③ はさみで( )。

言葉を( )。

④ 計算が( )。

線を( )。

⑤ つなを( )。

。 。 ( )。

線を( )。

。 。 ( )。

切る 引く 流れる 聞く 合つ

# 4 言語

## ことばの学習(4)

反対の意味の言葉

名 前 年 組 番

小学校6年・国語

/ 17 問

1 次の――の言葉と反対の意味になる言葉を書きましょう。

〈例〉窓を開ける。 ⇄ ドアを(閉める)。

① 夜おそくなる。 ⇄ 朝早く( )。

② 約束を破る。 ⇄ 約束を( )。

③ 寒い一日だった。 ⇄ ( ) 一日だった。

④ 話し手はきちんと伝える。 ⇄ ( ) は耳をかたむける。

⑤ 先祖のことを考える。 ⇄ ( ) のことを考える。

2 次の言葉と反対の意味の言葉になるように、□に漢字を書き入れましょう。

① 支店 ⇄

店

② 直接 ⇄

接

③ 和食 ⇄

食

④ 肉食 ⇄

食

⑤ 悪評 ⇄

評

⑥ 入場 ⇄

場

⑦ 点火 ⇄

火

⑧ 不作 ⇄

作

⑨ 楽観 ⇄

觀

⑩ 反対 ⇄

成

⑪ 増加 ⇄

少

⑫ 貿易赤字 ⇄ 貿易

字

# 5 言語 ことばの学習(5)

名 前 年 組 番

1 次の熟語を後から選んで、書き入れましょう。

① 子どもが  の服を買う。

たい しよう

③ 歯をみがく  週間 対照 対象  がある。

しゅう かん しゅう かん

⑤  誌を読む。

しゅう かん

— 週間 習慣 週刊 —

2 次の熟語を、それぞれ書き分けましょう。

①  な商品。

こう か こう か

②  的な表現。

こう か こう か

⑤  に伝える。

せい かく せい かく

⑥ やさしい  。

せい かく せい かく

⑨  友達に会う。

き かい き かい

体操の選手。

⑩  。

き かい

⑪  こん虫

さい しゅう

⑫  的な結論。

けつろん

をする。

⑪  百科  を見る。

さい しゅう

を見る。

⑧  で調べる。

じ てん

で調べる。

⑦  国語  文を書く。

じ てん

④  熱帯雨林  の土地。

き こう き こう

の土地。

③  の予定。

④  一いつ  。

しゅう かん

の予定。

②  的な二人。

たい しよう

# 6 言語 ことばの学習(6)

送りがな

名前

年

組

番

小学校6年・国語

/ 17 問

1 一線の漢字の読みを書きましょう。

（ ） （ ） （ ）

① 細い糸でぬう。

② 細かい砂をつめる。

（ ） （ ） （ ）

③ 夜を明かす。

④ 明るい光の筋。

⑤ 明らかな原因がある。

2 送りがなの正しいものをそれぞれ選んで、（ ）で囲みましょう。

① 育る・育てる・育だてる

② 少い・少ない・少くない

③ 改る・改める・改ためる

④ 全く・全たく・全つたく

⑤ 喜ぶ・喜こぶ・喜ろこぶ

⑥ 加る・加える・加わえる

⑦ 快い・快よい・快ろよい

⑧ 悲い・悲しい・悲なしい

3 次の漢字に送りがなを付けましょう。

① おわる → 終（ ）

② あたらしい → 新（ ）

③ つめたい → 冷（ ）

④ あぶない → 危（ ）

（ ）

# 7 言語 ことわざ

名 前 年 組 番

小学校6年・国語

/ 15 問

1 次の意味のことわざを後から選んで、記号で答えましょう。

① 指図する人が多いと、ものごとが見当ちがいの方向に進むこと。  
遠回りで、効果がないこと。

② よいと思ったら、すぐにとりかかるのがよいこと。  
わざかなものも、積み重なれば大きなものになること。

③ 大きな仕事も、手近なところから始まること。

④ 何人かで集まつて相談すると、よいちえが生まれるということ。  
心配するより、やってみるとまくいくものだということ。

ア ちりも積もれば山となる  
ウ 善は急げ  
オ 船頭多くして船山を上る  
キ 三人寄れば文殊のちえ

イ 千里の道も一步から  
エ 案するより産むが易し  
カ 二階から目薬

2 次のことわざと同じような意味のことわざを後から選んで、記号で答えましょう。

① あぶはち取らず  
② ぶたに真珠  
③ 泣きつらにはち  
④ のれんに腕押し  
⑤ 果報は寝て待て  
⑥ さるも木から落ちる  
⑦ せいてはことを仕損じる  
⑧ 念には念を入れよ

— — — — — — — —

— — — — — — — —

ア ウ オ キ  
ア ウ オ キ  
急がば回れ 待てば海路の日和あり  
豆腐にかすがい 待てば海路の日和あり

イ エ カ ク  
イ エ カ ク  
弘法にも筆の誤り 石橋をたたいてわたる  
弱り目にたたり目 二兎を追うものは一兎をも得ず

# 8 言語 四字の熟語

## ことばの学習(8)

名 前 年 組 番

### 1 次の四字の熟語の意味に合つるものを見つけて、——で結びましょう。

- ① 無我夢中 むがむちゅう •  
 ② 異口同音 いくどうおん •  
 ③ 誠心誠意 せいしんせいい •  
 ④ 臨機應變 りんきおうへん •  
 ⑤ 公明正大 こうめいせいだい •  
 ⑥ 一石二鳥 いつせきにちょう •  
 ⑦ 油斷大敵 ゆだんたいてき •  
 ⑧ 我田引水 がでんいんすい •

- ・ いつわりのない、ほんとうの心。
- ・ その場の変化に合った適切な処置しょちをすること。
- ・ やましいところがなく堂々としていること。
- ・ ものごとに心をうばわれ、我われを忘れること。
- ・ 気をぬくことなく用心せよということ。
- ・ みんなが同じことを言うこと。
- ・ 自分に有利なように言つたりしたりすること。
- ・ 一つのことをして二つの利益を得ること。

### 2 次の意味の四字の熟語になるように、□に漢字を書き入れましょう。

- ① 予想がすべて当たること。

百中

- ② よいところも悪いところもあること。

一短

- ③ あれこれ言わずに、実行すること。

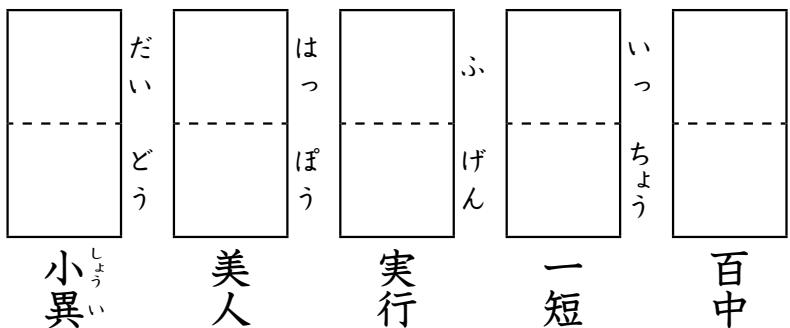
実行

- ④ だれにでもいい顔をしてつき合うこと。

美人

- ⑤ 少しのちがいがあつても、ほとんど同じということ。

小異しょ



# 9 言語 ことばの学習(9)

同じ訓を持つ漢字

名 前 年 組 番

小学校6年・国語

/ 19 問

1 次の文中の（ ）の漢字のうち、正しい方を○で囲みましょう。

① 先生に、手を（上・拳）げて質問する。

② 荷物をあみだなに（上・拳）げる。

③ 店で、自分に（合・会）う服を探す。

④ 駅でたまたま友人に（合・会）う。

⑤ そうじ当番を（代・変）わってもらう。

⑥ 信号が赤から青に（代・変）わる。

⑦ 観光地をおとずれる人が後を（立・建・絶）たない。

⑧ みんなの前に（立・建・絶）つて話をする。

⑨ 街の中心地に大きなビルが（立・建・絶）つ。

2 □に、同じ訓を持つ、別の漢字を書き入れましょう。

① 夜中に目が□める。

② コーヒーが□さ□さめる。

③ 人のために骨を□る。

④ 布を□お□る。

⑤ お年寄りに席を□ける。

⑥ 夜が□ける。

⑦ 重いとびらを□ける。

⑧ 毎日□いおふろに入る。

⑨ 毎日□い本を読む。

⑩ 毎日□い日が続く。

10-6-1-1092-009-01-1  
©TOKYO SHOSEKI  
©TOKYO SHOSEKI

# 10 言語 ことばの学習(10) 漢字の使い方

名 前 年 組 番

小学校6年・国語

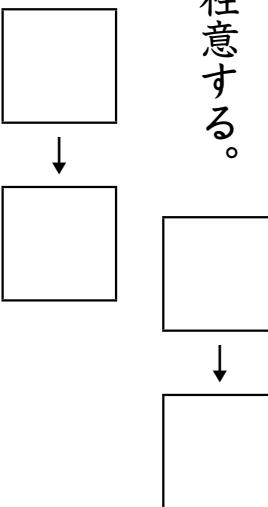
／13問

1 次の文中の（ ）の漢字のうち、正しい方を○で囲みましょう。

- ①（動・働）物の世話をする。
- ②放（果・課）後、友人の家に遊びに行く。
- ③旅行をした人の（記・紀）行文を読む。
- ④兄は正（義・議）感が強い。
- ⑤ビルの（官・管）理会社に電話をする。
- ⑥知人の家を訪（ほう）門・問（）する。
- ⑦気（求・球・救）に乗って空を飛ぶ。
- ⑧店までの道を往（復・複・腹）する。

2 次の文から、まちがつた使い方をしている漢字を書きぬき、正しい漢字を書きましょ。

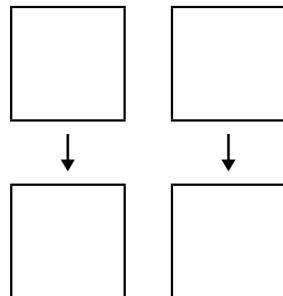
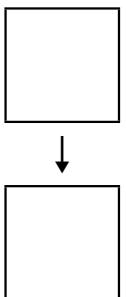
- ①道をわたる時は、車に注意する。
- ②各国の取都を覚える。



- ③地元の人が共力して川をきれいにする。

- ④それぞれの人の固性が出た文章を読む。

- ⑤遊園地の入場量をはらう。



# 11 言語 ことばの学習(11)

類義語

名 前 年 組 番

小学校6年・国語

/ 17 問

1 次の言葉と同じような意味の言葉を、□から選んで、記号で答えましょう。

- |      |   |      |   |
|------|---|------|---|
| ① 案外 | — | ② 安全 | — |
| ④ 利用 | — | ⑤ 天然 | — |
| ⑦ 美点 | — | ⑥ 単調 | — |
| ⑩ 技量 | — | ⑧ 事情 | — |
| —    | — | ⑪ 不在 | — |
| —    | — | ⑫ 残念 | — |
| —    | — | —    | — |
| —    | — | —    | — |

ア	留守	イ	自然	ウ	無念	エ	能力	オ	健全
カ	無事	キ	平板	ク	理由	ケ	意外	コ	活用
サ	長所	シ	活発	—	—	—	—	—	—

2 —の言葉と同じような意味の言葉を、□に漢字一字を入れて完成させましょう。

① 遠足の用意をする。 → 遠足の準□をする。

② 体の具合が悪そうだ。 → 体の□子が悪そうだ。

③ 全体の組み立てを考える。 → 全体の□成を考える。

④ 簡単に解ける問題。 → 容□に解ける問題。

⑤ よい方法がある。 → よい□段がある。

□	□
---	---

□
---

□
---

□
---

# 12 言語 慣用句

## ことばの学習(12)

名 前 年 組 番

小学校6年・国語  
/ 15問

1 □に当てはまる漢字を、□から選んで書き入れ、下の意味を持つ慣用句を完成させましょう。

① □が高い…自慢である。

② □が出る…費用がかかって、お金が足りなくなる。

③ □が重い…言葉数が少ない。

④ □を焼く…持て余す。取りあつかいに困る。

⑤ □が痛い…言われたことが、自分の弱点をついているので、つらい。

手 足 目 鼻 口 耳

2 次の慣用句の意味に合つものを□から選んで、記号で答えましょう。

- ① 油を売る  
くちぐるま
- ② さじを投げる
- ③ 口車に乗る
- ④ かぶとをぬぐ
- ⑤ ねた子を起こす
- ⑥ お茶をにごす
- ⑦ えりを正す
- ⑧ とりつく島もない
- ⑨ 大ぶろしきを広げる
- ⑩ 木で鼻をくくる

ア うまいことを言われて、だまされること。 イ 降参すること。

ウ いいかげんにごまかすこと。 ハ 心をひきしめてはじめになること。

オ むだ話をして、時間をつぶすこと。 カ ひどく冷たい態度で接すること。

キ すんだことを、また問題にすること。 ク 近寄りようがない様子。 ケ 方法がなく、あきらめること。 コ できもしないことを話すこと。

# 13 言語 ことばの学習(13)

じゅくご  
熟語の成り立ち

名前 \_\_\_\_\_ 年組番 \_\_\_\_\_

小学校6年・国語

／14問

1 次の①～④の成り立ちの熟語を、□から一つずつ選んで書き入れましょう。

① 「左右」のように、意味が反対になる漢字の組み合わせ。

② 「道路」のように、似た意味の漢字の組み合わせ。

③ 「高山」のように、上の漢字が下の漢字を修飾するもの。

④ 「登山」のように、「一を」や「一に」の意味に当たる漢字が下にくるもの。

□	□	□	□
□	□	□	□
□	□	□	□

2 次の漢字と意味が反対になる漢字を書き入れて、二字の熟語を作りましょう。

① 進  ② 始  ③ 前

3 次の熟語と成り立ちが同じ熟語をそれぞれ選んで、□で囲みましょう。

- |      |                    |
|------|--------------------|
| ① 衣服 | （ 寒波 全身 発声 製造 善惡 ） |
| ② 読書 | （ 進出 乗車 長短 大木 船旅 ） |
| ③ 外国 | （ 南風 作文 絵画 入学 増減 ） |

## 14

言語

ことばの学習(14)  
特別な読み方の漢字・かな  
もとになつた漢字

名前

年組

番

## 1 一線の漢字の読みを書きましょう。

① 明日は七夕のお祭りだ。  
② 昨日は大雨が降った。

③ 今朝はねぼうをした。  
④ 真っ赤な顔をしている。

⑤ 駅で迷子になる。  
⑥ 四月一日に登校する。

⑦ 時計を合わせる。  
⑧ 上手に絵をかく。

⑨ 果物を食べる。  
⑩ 八百屋でトマトを買う。

2 ひらがなは漢字をくずして書くことから、かなは漢字の一部をとつて書くことから生まれました。次のひらがなやかたかなのもとになつた漢字を、□から選んで書き入れましょう。

- ⑨  ↓ヒ  
⑤  ↓は  
①  ↓ふ  
②  ↓わ  
③  ↓あ  
④  ↓れ  
⑦  ↓タ  
⑧  ↓ウ  
⑩  ↓リ  
⑥  ↓カ  
⑦  ↓タ  
⑧  ↓ウ

安 札 不 波 和 比 宇 加 利 多

# 15 言語 ことばの学習(15)

文末の言い方

名前

年組

番

小学校6年・国語

10問

1 次の――のうち、より強く確信している言い方に、それぞれ○を付けましょう。

- この足あとはねこのものだ。  
この足あとはねこのものらしい。  
今日は雨が降るかもしれない。  
今日は雨が降るにちがいない。  
明日は晴れるはずだ。  
明日は晴れるだろう。

2 次の――のうち、人から聞いた言い方に、それぞれ○を付けましょう。

- この川には魚がたくさんいるようだ。  
この川には魚がたくさんいるということだ。  
この川には魚はあまりいないうだ。  
この川には魚はあまりいないうだ。

3 次の――の言い方を、正しい言い方に直して書きましょう。

- ① あなたは、けつして悪い。  
② どうかそこにおすわりなさい。  
③ 三時にはケーキが食べる。  
④ 明日のテストで、まさか〇点はどらない。  
⑤ 君はどうしてあの山に登る。

1 ( ) に当てはまる言葉を、□から選んで書き入れましょう。

- ① 雨が降りそうだ。  
——、かさを持って来た。

- ② もう意見はありませんか。  
――、決を採ります。

- ③ 犬が私のことを見た。  
——、しつぽをふつた。

- ④ ぼくはカレーが好きだ。  
――、今はあまり食べたくない。

- （5）私は図書館によく行く。  
――、本が大好きだからだ。

でも  
では  
だから  
なぜなら  
そして

2 次のうち、前の内容とは逆の内容が後に来ていくものに、それぞれ○を付けましょう。

① 今朝は天気がよかつた。ところが、夕方からどしゃ降りになつた。  
— 今朝はくもつていた。そのうえ、夜から雪も降つた。

② 練習をたくさんした。それで、ピアノが上手になった。  
練習をたくさんした。けれども、ピアノは上手にならなかつた。

（2） ② ①  
— まず薬屋さんに行きます。それから、八百屋さんに行きます。  
— 家に教科書を忘れました。そこで、走って家にもどりました。  
— 今日はいい天気です。だから、公園まで散歩に行きます。  
— 明日は海で泳げます。または、山に登れます。

# 17 言語

## ことばの学習(17)

複合語

名前

年

組

番

1 一つ呑ませた言葉で、正しい方に○を付けてましょう。

① 持つ + 出す → ( ) 持ち出す  
 ( ) 持て出す

② はしら + とけい → ( ) はしらとけい  
 ( ) はしらどけい

③ よぶ + とめる → ( ) よびとめる  
 ( ) よべとめる

④ かぜ + くるま → ( ) かぜぐるま  
 ( ) かぜぐるま

2 次の言葉は、一つ呑ませて、どういった言葉になりますか。〈例〉にならってひらがなで書きましょう。

〈例〉とぶ+あがる=（とびあがる）

① いう+あらわす=（ ）

② ほそい+ながい=（ ）

③ ちよきん+はこ=（ ）

④ かね+もの=（ ）

⑤ かける+あがる=（ ）

## 18

言語

ことばの 反対の意味の言葉 同音異字おやじらい 三字の熟語

名前

年

組

番

1 次の——線の言葉と反対の意味の言葉を、□の漢字を組み合わせて書きましょう。

- ① この先は危険な場所だ。
- ② 川田さんの意見に反対する。
- ③ 元気なので安心した。
- ④ 運動を楽しむ人が増加した。
- ⑤ 交通が不便な所。

- ① 衣食住 ( )
- ② 親孝行 ( )
- ③ 貴重品 ( )
- ④ 街路樹 ( )
- ⑤ 再発行 ( )
- ⑥ 市町村 ( )

2 次の三字熟語の構成をあとから選び、記号を答えましょう。

ア 一字の語 + 二字熟語 イ 二字熟語 + 一字の語  
ウ 一字の後が三つならぶ

3 次の□に、次の音読みをもつ漢字を書きましょう。

・ そう: ① ピアノ協

曲。

② 包

紙。

③ 高

ビル。

・せん: ④ 温

に入る。

⑤

門家。

⑥ 朝の

顔。

安 減 便 少 配  
心 利 成 全 贊

## 19

言語

同訓異字 ことわざ 部首

名前

年

組番

小学校6年・国語

/13問

1 □に、同じ訓を持つ、別の漢字を書き入れましょう。

- ① 教えを  く。  
と  く。
- ② 問題を  く。  
と  く。
- ③ 領地を  める。  
おさ  める。
- ④ 税金を  める。  
おさ  める。
- ⑤ あつ  い本。  
あつ  い本。
- ⑥ あつ  い友情。  
あつ  い友情。

2 次の①②③の「ことわざ」の意味をあとから選び、番号を書きましょう。

① ( ) 情けは人のためならず

情けをかけるのは人のためだけでなく、自分のためにもなる。

情けはその人のためにはならないから、かけないほうがよい。

情けはその人ばかりでなく、世の中の人のためになる。

② ( ) 好きこそものの上手なれ

いろいろやってみると、何か一つは上手になるものだ。

きらいなことでも続いているうちに上手になり、好きにもなる。

自分の好きなことは熱心にやるから、上手になるのも早い。

③ ( ) ねこの手も借りたい

ねこと遊ぶほど、とてもひまなこと。

いそがしくて、人手が足りないこと。

時には、気分を変える必要があること。

3 次の□に、次の部首をもつ漢字を書きましょう。

① 友の家を  ねる。  
たん  ねる。

たず

あやま

つた字を書く。

・こんべん

②  生日のプレゼント。  
たん  たん

生日のプレゼント。

月刊

を買う。

1 次の——線の言葉が正しく使われているもの、□を付けてある。

① あのは口がかたいから、よく歯医者に通っている。  
姉は口がかたいからいつもご飯を少ししか食べない。

——あのは口どがかたいから信用できる。  
——そんな高級品はわたしには手が届かない

（2）――ねぼうしたので、約束の時間に手が届かない

この計算問題はほくには手が届かないほど難しく、うでによりをかけると、料理はとてもはやく完成する。

③ お母さんがうでによりをかけた料理だからもうでによりをかけて勉強したから満点だった。

2 次の□に漢字を記入せしめ、因字熟語を完成せしめしよ。

① あの人公明正  
な人からは、見習いたいものだ

② 入賞の知らせを聞いても、最初は半信半  
だつた

③ まんおどりが始まる、人々は三々  
々集まつてきた。

A large, empty rectangular box with a black border, positioned in the upper right quadrant of the page.

④ 全員が、異

3 次の□に合ひ、形の似てゐる漢字を書きなさい。

① 歌の作

1

○

会者。

②  し  
歌の作

会者。

④  かかり  
銀河

給食の

⑥  い  
月

矢を

をはらう。